

乗客定員二千二百人のコスタ・ヴィクトリア号



クルーズの旅を何度か体験した。寝ている間に目的地に移動する

クルーズは楽だ。体調が悪ければ自分の部屋で寝ておけばよく、病院の後遺症がある妻と一緒にでも安心して旅を楽しめる。

ただ、海外クルーズは客船の発着地まで出向かねばならないのが難点だ。前回のアラスカクルーズはアンカレッジに、前々回のバリ島はシンガポールまで行き、そこからクルーズの旅となつた。そこまでの飛行機運賃込みのツアーカー料金がそれほど高くないのは、宿泊食事はすべて船内にあるからだ。普通の旅でも同じホテルに連泊すれば割安になる。

そんなことを考えたいた時、目に留まったのが博多港発着の外国船クルーズの旅だ。最近は日本船によるクルーズも時々目にするようになつたが、外國船クルーズに比べ料金が高いように思う。国内旅行に比べ、遠くに出掛けていく海外旅行のは

## イタリア客船の旅 ～上海・濟州島クルーズ①～



藤屋侃士  
(下松市幸ヶ丘)

323

方が安く感じるのは「円高」だからだ。博多発着でも外国船クルーズの船内費用はアメリカドル決済なので円高のメリットで安くなる。



船長自ら船長室で歓迎してくれた

目に留まつた旅はイタリア客船コスタ・ヴィクトリア号(七万五千)による「上海・濟州島・鹿児島六日間」で、料金は四万九千八百円。安い。博多発着だから飛行機で発着地に向かう必要もない。同じ条件で鹿児島の替わりに釜山というのもあつたが、日程の都合が悪く、結局、締め切り直前に八月末出発の上海・濟州島・鹿児島六日間の旅に申し込み。同じ条件で鹿児島の船室は二万円高く、さらにバルコニー付きになると四万円も高くなる。

ぎりぎりに申し込んで一番安い内側ツインしかなく、どれに付けるか悩む必要もなかつた。クルーズは見晴らしのいい上の階ほど料金は高い。今回一番安い部屋だったので客室では一番下の五階。料金は高い。しかし、船長直々に歓迎されたりもした。

そこで参加した今回のクルーズ、台風の接近となり、世界中に知れわたつた。私たちちはちょうどバリ島クルーズの途中で、船内でも話題となつた。が、避難訓練で思わずなつたが、外國船泊するというハプニングで、参加した今回のクルーズ、台風の接近で、博多港でスタートしたのだけれど、大事件が起つたのである。

から人生、何が幸いするかわからない。

さて、今回、コスタ・ヴィクトリア号に乗

り込んだ。四万九千八百円というものは一番安い内側ツインの料金で、児島六日間の旅に申し込ん

だ。イクトリニア号は同じ会社の船。貧乏性の発想

で、この事件の汚名返上

のもそのためかもしない

理由があつた。

今年一月中旬に地中海クルーズでイタリアの十一万トンの客船が座礁して転覆、死者まで出るという事故があつた。船長が乗客を残して自分の方が先に船から脱出したことで話題

あり、今までのクル

ズでは体験したことのない、操舵室に入れてもらひ、船長直々に歓

迎されたりもした。

しかし、まらぬ発想

像が当たつていた面も

あり、今までのクル

ズではない。私の下世話な想

いのでは? 料金が安い

のもそのためかもしれない

。イクトリニア号は同じ会